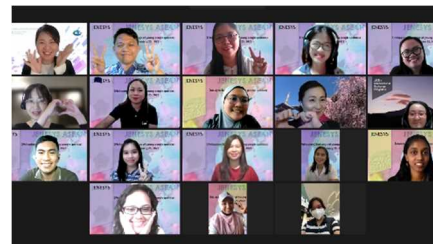


## JENESYS2020 日マレーシア・オンライン交流 (ホストタウン訪問、魅力ある街づくり) の記録

### 1. 概要

【目的】日本に対して関心を有するマレーシアの大学生・大学院生・社会人を対象に日本理解講義等を実施し、日本の政治・経済・文化についての概要を学び、対日理解の深化の達成を主目的として、本プログラムを実施しました。

【参加者】 マレーシアの大学生・大学院生・社会人  
(若手政治関係者) 計 192 名



【訪問地】 愛媛県、東京都

### 【日程】

日付 訪問地	内容	参加者の質問・反応
2021 年 1 月 28 日 愛媛県	(他のプログラムと合同実施) <b>【ウェビナー・質疑応答】</b> マレーシアの大学生・大学院生・社会人 183 名 1. 愛媛県の国際交流事業 講師：愛媛県国際交流課 木村 朋宏氏 2. マレーシアとのホストタウン交流 講師：愛媛県スポーツ・文化部スポーツ局地域スポーツ課オリパラ・マスターズ推進室 萩原 健氏 3. 愛媛県の魅力と国際交流員の活動紹介 講師：愛媛県新居浜市市民環境部地域コミュニティ課国際交流員 ヌル・ファラナス・アブ・マンスル氏	「愛媛県とマレーシアの間で、今後、スポーツ以外の分野への交流拡大の可能性」「県独自のプログラムへの参加や応募方法」「愛媛県内でのムスリム対応（ハラルフードのレストラン、祈祷のための場所等）」等についての質問がありました。同胞の交流員から直接話を聞くことが出来たこともあり、チャット上、多くの関心が寄せられました。
以下 5 日間の参加人数：9 名（以下のプログラムは他のプログラムと合同で実施）		
2022 年 1 月 22 日 ～	<b>【動画視聴】</b> 1. ホームビジット体験 2. ホストタウン	プログラムへの理解を深めるため、参加者は日本やプログラムに関する動画を視聴してから参加しました。

<p>2022年 1月25日 東京都</p>	<p>【オリエンテーション】【ウェビナー・質疑応答】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 自己紹介（グループ別）</li> <li>2. 日本理解講義・質疑応答 「Japan Today」 講師：SIMA 国際経営研究所 所長 木村 秀夫氏</li> <li>3. グループ別交流</li> </ol>	<p>最初に自己紹介をしたことで和やかな雰囲気が出ました。日本理解講義では、「人口が東京に集中している現状に対して、政府はどのような対策を講じていますか」「日本では、どのような技術を利用して廃棄物からエネルギーを生み出していますか」「日本の高齢化社会に対する日本の政策について教えてください」など多くの質問がありました。参加者から講義内容に対してポジティブな意見があり、初日としてよいスタートでした。グループ別交流では、リーダー、サブリーダーを選出しました。</p>
<p>2022年 1月26日 東京都 台東区</p>	<p>【ウェビナー・視察】 「和食の魅力ツアー」 協同組合浅草商店連合会</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ビデオ視聴 NHK「新日本風土記」協同組合浅草商店連合会出演</li> <li>2. プレゼンテーション 「浅草の紹介」 協同組合浅草商店連合会 理事 西山 繁夫氏</li> <li>3. 3店舗の動画による紹介 茶寮一松 宮代 清子氏 桜鍋中江 中江 白志氏 駒形どぜう 渡辺 隆史氏</li> <li>4. 各店舗の店主とグループ別での交流会の実施</li> <li>5. ライブ中継：浅草仲見世</li> </ol>	<p>プログラムはじめに浅草における問題取り組みをとりあげた NHK 番組のビデオを上映しながら、浅草商店連合会より、観光、芸能、職人、仲見世、浅草寺など浅草の魅力や歴史的背景について紹介を受けました。次に歴史ある老舗和食店舗の店主による店舗紹介・グループに分かれた交流会を行いました。参加者からは、「古い建物を維持しながら経営で気を付けることは何がありますか」「馬肉を使った料理は、他の食材に比べて高価ですか」などビデオや写真をみて感じた質問を多くいただきました。最後のライブ中継では、浅草仲見世から浅草寺境内、浅草神社まで中継で繋いで紹介され、短い時間ながら、参加者から150件ほどのコメントが寄せられ、オンライン上でありながらも楽しく賑わい、おおいに盛り上がったプログラムとなりました。</p>
<p>2022年 1月28日 東京都 台東区</p>	<p>【オンライン自治体訪問・交流】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 講義 「台東区リノベーションの取り組み」 講師：台東区役所 地域整備第二課 課長 井上 知美氏</li> <li>2. 質疑応答</li> </ol>	<p>1月26日の「和食の魅力ツアー」で訪れた浅草を含む台東区のまちづくりに関する講義だったため、参加者にとってなじみやすいプログラムでした。参加者から、「日本はまちづくりにおいて伝統や文化と現代的な面を両立させている」「自然や伝統を損なわずに観光を促進することが大切」などの意見がありました。また、自国でもオーバー</p>

		<p>ツーリズムが問題になっている地域があることで、浅草のオーバーツーリズム問題に共感を示していました。質問では、「23区の中で台東区の魅力を際立たせるために財源はどのように確保していますか」「政府からの区への支援はありますか」「イスラム教徒の祈りの場、ハラル食への取り組みはありますか」などがありました。</p>
<p>2022年 1月31日 東京都</p>	<p>【ワークショップ】【報告会】 1. グループプレゼンテーション 講評 SIMA 国際経営研究所 所長 木村 秀夫氏 2. 記念撮影</p>	<p>それぞれのグループがプログラム中に学んだことを活かしたアクション・プランを発表しました。リーダーを中心に、短い時間で資料を作り上げ、充実したプレゼンテーションを行いました。SNS上で、イスラム教徒のハラルフードの状況やモスク等のイスラム教の施設などについて議論する、写真パズル・日本美術・日本に関するクイズなど、生徒と一緒に楽しめるアクティビティを実施するなどの提案がされました。</p>

## 2. 記録写真

	
<p>2021年1月28日【ウェビナー】 愛媛県の国際交流事業</p>	<p>2021年1月28日【ウェビナー】 マレーシアとのホストタウン交流</p>
	
<p>2021年1月28日【ウェビナー】 愛媛県の魅力と国際交流員の活動</p>	<p>2021年1月28日【質疑応答】愛知県</p>

	
<p>2022年1月25日【日本理解講義・質疑応答】</p>	<p>2022年1月26日【ウェビナー・視察】浅草</p>
	
<p>2022年1月28日【東京都台東区の訪問・交流】</p>	<p>2022年1月31日【報告会】</p>

### 3. 参加者の感想（抜粋）

#### ◆ 参加社会人

このプログラムに参加する前、私は愛媛について聞いたことがありませんでした。しかしプログラムを通して愛媛のことをたくさん知ることができました。温泉、みかん、猫島、そして愛媛の温かくて親切な人々などその魅力に触れて、今すぐにでも愛媛県を訪れたいと思いました。愛媛県の魅力を紹介してくださり、本当にありがとうございました。

#### ◆ 参加社会人

このプログラムに参加して、愛媛県のことをもっと知りたい、マレーシアと日本の両方を宣伝するために何かできないか、考えるようになりました。これから他のオンラインプログラムにも参加して、引き続き日本について学びたいと思います。

#### ◆ 参加社会人

このプログラムを大変気に入りました。期間をもっと長く設け、学校等の教育機関や省庁等を訪問してみたかったです。もっと日本の学校を訪問したいので、いつの日か実際に日本に招へいいただきたいです。

#### ◆ 参加社会人

日本を旅行したいイスラム教徒は沢山いるので、ハラルの状況をシェアして下さると有難いです。将来の講義には、ぜひハラルに関するコンテンツも含んでほしいです。

#### 4. 受入れ側の感想（抜粋）

##### ◆ 愛媛県 国際交流員

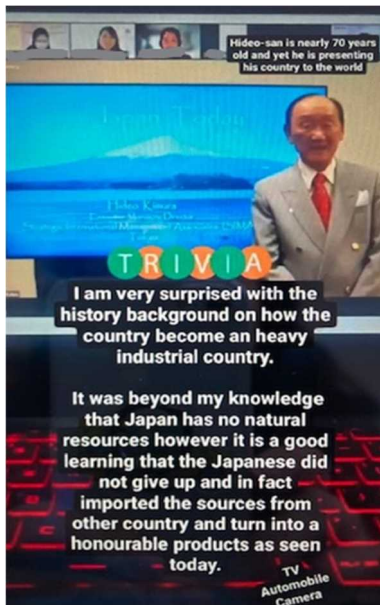
この度は、国内受入訪問地として参加させていただき、誠にありがとうございました。海外の方々が参加するオンライン講義をしたのは今回初めてでしたが、実施団体様からのサポートのおかげで、とてもスムーズにできたと思います。

##### ◆ 視察担当者

新型コロナウイルス感染症の影響で外国との行き来ができない中、国を超えた交流や人材の育成を進めるプランに共感しました。初めての経験でしたが、時間配分や内容を改善してさらにより良い内容にしていきたいと思います。皆さん熱心に聴講して頂き嬉しく思います。

#### 5. 参加者の対外発信、報道事例等

	
<p>2021年1月28日（Instagram）</p> <p>JENESYS オンラインプログラムに参加して愛媛について学びました。愛媛はみかんの産地で全国に出荷しています。また海の幸もおいしく、見どころがたくさんあります。サイクリング好きなら、しまなみ街道も最高です。紙の生産でも有名なので紙を使ったアートに興味がある方は訪れるべきです。コロナが収束したら是非行ってみたいです。</p>	<p>2021年1月28日（Facebook）</p> <p>初めて知る愛媛県の情報を知ってワクワクしました。猫がいっぱいの青島は、人より猫の数の方が多いそうです。そして県のマスコットのみきゃん。コロナでオンラインセッションしかできませんが、この状況が徐々に良くなることを祈っています。新型コロナウイルス感染症の状況においてもこのような交流プログラムを実施してくれてありがとうございます。</p>



2022年1月25日 (Instagram)

日本がどのようにして重工業の国になったか、その歴史的背景を知って驚きました。日本は天然資源がないのに、あきらめることなく他国から資源を輸入して今日見られるような立派な製品を作り上げています。

2021年1月28日 (Instagram)

興味深く、情報満載のオンラインイベントを開催し、愛媛県のことやJETプログラム国際交流員ファラさんの経験をシェアしてくれてありがとうございました。このようなJENESYSのオンラインイベントにまた参加したいです。愛媛県や日本に行くことが楽しみです。



2022年1月28日 (東京新聞)

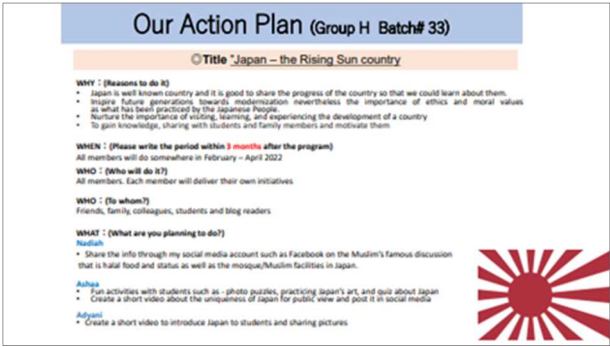

東南アジア諸国連合 (ASEAN) 地域などの若者に日本の産業などを学んでもらう交流プログラムの一環で26日、台東区浅草から、食の魅力を伝える講座の配信が行われた。浅草商店連合会の西山繁夫理事 (62) が講師役を務めた。プログラムは、コロナ禍で国際的な人の往来ができない中でも、海外の若者に日本のことを知って

もらおうと、一般財団法人日本国際協力センター（新宿区）が企画した。

（中略）2日目のとなるこの日は ASEAN 諸国と東ティモールから、高校生～30代の社会人計約200人がオンラインで参加。浅草にいる西山さんから話を聞いた。

西山さんが浅草神社や浅草寺の縁起、三社祭や仲見世のにぎわいなど浅草の魅力をスライドや映像で紹介。雷門から仲見世を通り、浅草寺境内までを実際に歩く「バーチャルツアー」も実施した。また、浅草に店を構える老舗料理店3店の店主と、受講生とのオンライン交流も行われた。講座を終えた西山さんは「画面越しだが、受講生の日本への思いが感じられた」と話した。

## 5. 最終報告会でのアクション・プランの発表

	<ol style="list-style-type: none"><li>1. Facebook などの SNS カウンターで、イスラム教徒のハラールフードの状況や日本のモスク・イスラム教の施設などについて議論します。</li><li>2. 写真パズル、日本美術の練習、日本に関するクイズなど、生徒と一緒に楽しめるアクティビティを実施します。<ul style="list-style-type: none"><li>- 日本らしさを伝えるショートビデオを作成し、ソーシャルメディアに投稿します。</li><li>- 日本を紹介する短いビデオの作成と写真の共有をします。</li></ul></li></ol>
	

実施団体名：一般財団法人日本国際協力センター（JICE）